

令和8年台風第24号及び前線による大雨について（第4報）

1 厚生労働省における対応

- (1) 9/2 12:10 厚生労働省災害情報連絡室設置
- (2) 全都道府県に対し、災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）を活用した迅速な災害対応を依頼（9/3）
- (3) 厚生労働省保健医療福祉調整本部支援チーム（チーム長：医務技監）について、情報連携開始。（9/3）

2 医療関係

- (1) 医療関係情報（9月6日 9時00分時点）

9月2日3時49分 青森県 EMIS 警戒モードに変更

⇒青森県 EMIS 警戒モード解除

9月3日19時40分 鹿児島県 EMIS 警戒モードに変更

9月5日21時28分 沖縄県 EMIS 警戒モードに変更

- (2) 医療施設の被害状況（9月6日 9時00分時点）

市町村名	被災施設数		被災状況別内訳									
			浸水		停電		断水		医療ガス		その他	
	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在
青森県(合計)	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
弘前市(ひろさきし)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
藤崎町(ふじさきまち)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (3) DMA Tの活動状況（9月6日 9時00分時点）

九州ブロックのDMA Tに対して、自動待機基準が適応され待機中

⇒鹿児島県以外の待機は解除済（9/5）

- (4) 医薬品・医療機器製造販売業、卸売製造販売業関係

各都道府県、関係団体に対し、注意喚起を行うとともに、被害状況を把握した場合には報告するよう依頼（9/3）。

現時点で被害報告無し。

3 社会福祉施設等関係

各都道府県、指定都市、中核市に対し、注意喚起を行うとともに、被害状況を把握した場合には報告するよう依頼（9/3）。

(1) 高齢者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。

(2) 障害者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。

4 保健・衛生関係

(1) 人工透析患者の安否

全都道府県に対し、透析医療の提供が困難となる事態にも対応できるよう注意喚起を行うとともに、被害状況確認の連絡体制確保を要請した。

また、日本透析医会に対し、情報共有について協力を依頼した。（9/3）

現時点で被害報告無し。

(2) 人工呼吸器在宅療養難病患者の安否

各都道府県・指定都市・中核市・児童相談所設置市に対し、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請（9/3）。

患者団体に対し、地区支部を通じて、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者への被害情報の把握について協力を依頼（9/3）。

現時点で被害報告無し。

(3) 被災者の健康管理

各都道府県等に対し、大雨の影響による保健所等の被害情報の収集や保健所等に被害があった場合に厚生労働省へ連絡することを要請。また、被災地で保健師などが行う保健活動に活用するための資料をまとめた事務連絡を送付し、避難所生活を送る被災者の健康管理を行うにあたり、十分な対策を行うよう依頼（9/4）。

(4) 感染症対策

・避難所における咳エチケットや手指衛生、換気の徹底といった感染予防対策を含め、災害に係る感染症予防対策について事務連絡とリーフレッ

トを発出するとともに、国立感染症研究所の専門家を派遣可能であることを周知。(9/5)

※「【事務連絡】令和8年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害に係る感染症対策等について」(令和8年9月5日付け厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課事務連絡)

(5) 公費負担医療

公費負担医療(原爆、感染症、難病、小慢、特定疾患、肝炎等)について、受給者証等がなくても受診でき、緊急の場合は指定医療機関以外の医療機関でも受診できる取扱いとする旨の事務連絡を都道府県宛に発出(9/5)。

※「【事務連絡】令和8年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて」(令和8年9月5日付け関係課連名事務連絡)

5 薬局、輸血用血液製剤、毒物劇物関係

(1) 薬局、薬剤師

各都道府県、保健所設置市、特別区に対し、薬局に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請(9/3)。

青森県健康医療福祉部医療薬務課より、9月2日14時時点での被害状況について報告あり。被害のあった1施設が営業不可。

	被災施設数		被災状況別内訳							
			建物被害		停電		断水		浸水	
	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在	最大	現在
青森県(合計)	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
つがる市	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1

(2) 輸血用血液製剤の供給

採血事業者(日本赤十字社)に対し、採血所や製造施設に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請(9/3)。

現時点で被害報告なし。

(3) 毒物劇物

各都道府県、保健所設置市、特別区に対し、毒劇施設に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請(9/3)。

現時点で被害報告なし

6 介護保険関係

(1) 被災した要介護高齢者等への対応について

○災害救助法が適用された自治体に対して、被災した要介護高齢者等について、特別な対応（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、介護保険施設等で災害等による定員超過利用が認められることなど）について周知し、特段の配慮を要請（9/5鹿児島県）。

○当該周知、要請を行ったことにつき、各都道府県・市町村にも連絡（9/5）。

○また、各都道府県・市町村に対し、被災者は被保険者証等を提示しなくても介護サービスを利用できるよう対応することを可能とする事務連絡を发出（9/5）。

(2) 被災に係る介護報酬等の取扱いについて

○要介護高齢者等や介護サービス事業所が被災した場合における介護報酬等の取扱いについて、緊急的に柔軟な対応が可能であることを周知（9/5）。

7 医療保険関係

○被災に伴い被災者がマイナ保険証又は資格確認書を保険医療機関等に提示できない場合においても医療保険による受診が可能である旨について、関係者に対する周知を、関係団体、都道府県、地方厚生（支）局に要請（9/5）。

※「令和8年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書の提示等について」（令和8年9月5日付け保険局医療課事務連絡）を送付（9/5）。

○全国健康保険協会、健康保険組合、健康保険組合連合会、社会保険診療報酬支払基金及び地方厚生（支）局に対して、災害その他の特別の事情がある被保険者に係る一部負担金等の徴収猶予及び減免を行うことができる旨を改めて周知。

※「災害により被災した被保険者等に係る一部負担金等及び健康保険料の取扱い等について」（令和8年9月5日付け保険局保険課事務連絡）を送付（9/5）。

○ 各都道府県に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知。

※「「災害により被災した国民健康保険被保険者に係る国民健康保険料（税）等の取扱いについて」の再周知について」（令和8年9月5日付け厚生労働省保険局国民健康保険課事務連絡）を送付（9/5）。

※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

○ 各都道府県等に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知。

※「令和8年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害に係る後期高齢者医療制度の一部負担金及び保険料の取扱いについて」

（令和8年9月5日付け保険局高齢者医療課事務連絡）を送付（9/5）。

※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

○ 被災者がマイナンバーカードを保険医療機関等に持参できない場合においても、オンライン資格確認システムで薬剤情報等が提供可能となる緊急時機能のアクティブ化を実施（9/5）。関係者に対する周知を、関係団体、都道府県、地方厚生（支）局に要請（9/5）。

※「令和8年台風第24号及び前線による大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について」（令和8年9月5日付け政策統括官付医療情報基盤担当参事官室、政策統括官付医療情報連携担当参事官室、社会・援護局保護課連名事務連絡）を送付（9/5）。

8 障害者支援関係

○ 災害救助法が適用された自治体に対して、被災した要援護障害者等について、特別な対応（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、障害福祉サービス事業所で災害による定員超過利用が認められることなど）について周知し、特段の配慮を要請。

9 年金関係

○日本年金機構に対して、災害により被災した被保険者に係る国民年金保険料の免除を行うよう指示するとともに、対象市町村に対しても周知（9/5）

○本年金機構に対し、災害により被害を受けた適用事業所に対する厚生年金保険料

等の納付の猶予制度等に係る周知について通知を発出するとともに、地方厚

生局

にも併せて通知を発出（9/5）

以上